

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	コンサート・プロダクト1	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート舞台コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位			授業形態	実習
教科書/教材	必要に応じてレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	嶋田円歌		実務経験の有無・職種	有・コンサート制作/アーティストマネージャー	
<b>学習目的</b>					
<p>コンサートやイベントなどの舞台監督及び大道具スタッフを目指す。</p> <p>舞台監督としては基本的な知識の理解を深め、全セクションのリレーションを良好に保つための方法論を学びその実践を行う。大道具スタッフとしては基本的な知識の理解及び必要な部材の理解や工具の使用法を習得する。この科目を受講する学生は、コンサート・イベント業界の中が協働の場である事を理解し、初めて係る舞台業界で求められる技術、知識の基礎を理解できるようになる。また、どのような人材を求められているか、その為にはどのような知識が必要で、どの様な人間であれば良いかを理解できるようになる。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>この科目ではコンサートやイベントなどに於ける舞台監督及び大道具スタッフとしての基本的な知識や技術を習得を目指し、実際の現場で活躍する企業のスタッフやプロのアーティストの協力の元実践的なコンサート制作を通してコンサートスタッフへの理解を深めることを目標としている。そのうえで、「現場で求められる人材」「実社会で活躍できる人材」とは何かを学生自らが考え、社会に出てから必要となるスキルを身に付けるために自ら動く大切さを理解できるようになることもまた目標としている。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	<p>実際にセットやそれに必要な部材を使って作成します。またその作業を反復練習することにより、理解度とスピードを上げていきますまたそれに必要な知識、技術をゼミも併用して身に付け、グレードにて自己確認します。仕込、リハーサル、本番に向けて、それぞれの更新、変更事項に対する資料の修正、改善などをしていくのは、ほぼ必須となります。またデザインアイデアなどは、様々なライブなどからヒントを得るために自主学習します。</p>				
注意点	<p>遅刻厳禁。実際の現場に於いて限られた時間の中でのタイムテーブル通りの進行は必須ですので、今の内から意識付けをしてください。重量物や長尺物などを扱いますので、安全面には十分気を付けてください。相応しい服装での授業参加を心がけてください。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に理解出来るように心掛けて下さい。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	60%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画 (1回～15回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	基礎実習①-1	舞台監督の仕事とコンサートの仕組みについて知る			
2回	基礎実習①-2	舞台美術の仕事と必要な道具について知る			
3回	基礎実習②-1	舞台監督が作成する資料(図面・進行表・タイムテーブルなど)について知る			
4回	基礎実習②-2	基本のロープワーク・幕の扱い方・山台の組み方			
5回	基礎実習③-1	図面の読みかた・バミリの方法を体験する			
6回	基礎実習③-2	パンチの敷き方と扱い方・簡単なセットの仕込を体験する			
7回	基本的な舞台設備①	ホールの機構、構造編			
8回	基本的な舞台設備②	平台、箱馬の様々な利用の仕方と実践			
9回	作品研究①	実際に行われ映像化されているライブをその資料とともに検証、解説			
10回	資格取得①	「足場の組立て等特別教育」の修了資格を取得			
11回	資格取得②	「フルハーネス型墜落制止用器具取扱特別教育」の修了資格を取得			
12回	基本的な舞台設備③	トラス・ライザー・バンド台など仮設金属部材の扱いと組み立てを理解する			
13回	基本的な舞台設備④	イントレの組み方を理解し、実際に組み立てを行う			
14回	VECTORWORKS基本操作①	VECTORWORKS(図面作成ソフト)の基本操作を理解する			
15回	VECTORWORKS基本操作②	VECTORWORKS(図面作成ソフト)を用いてプロット図を作成する			